

資料1

① 公職選挙法第15条八項

地方公共団体の議会の議員の数は、人口に比例して、条例で定めなければならない。ただし、特別の事情があるときは、おおむね人口を基準とし、地域間の均衡を考慮して定めることができる。

② 最高裁判所第二小法廷（平成7年3月24日）の判例

特例選挙区に関する公職選挙法第271条二項は、「地域的まとまりを尊重し、これを構成する住民の意思を都道府県政に反映させることが、市町村行政を補完しつつ、長期的展望に立った均衡のとれた行政施策を行うために必要であり、そのための地域代表を確保することが必要とされる場合がある」という趣旨の下に規定された。

③ 衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会（平成25年11月4日） （改正公職選挙法 都道府県議会議員の選挙区設定の見直し 審査より）

「・・・格差が対三程度となる事態が生じるということは、この改正案においてもそこは変わらないと思いますが、その上で、この一票の格差の是正について、地域的なまとまりを勘案した選挙区の設定や、あるいは地域代表の確保という要請との均衡を図りながら考えていかなきゃいけない」

「地域の代表という要請と人口の比例ということを、調和をとりながらやっていかなきゃいけない」

④ 最高裁判所第三小法廷（平成28年10月18日）判決より

（平成27年千葉県議選 選挙無効請求事件 上告棄却）

公職選挙法等の各規定に照らせば、都道府県議会の議員の定数の各選挙区に対する配分にあたり同法15条8項のただし書を適用して人口比例の原則に修正を加えるかどうか及びどの程度の修正を加えるかについては、当該都道府県議会にその決定に係る裁量権が与えられていると解される。

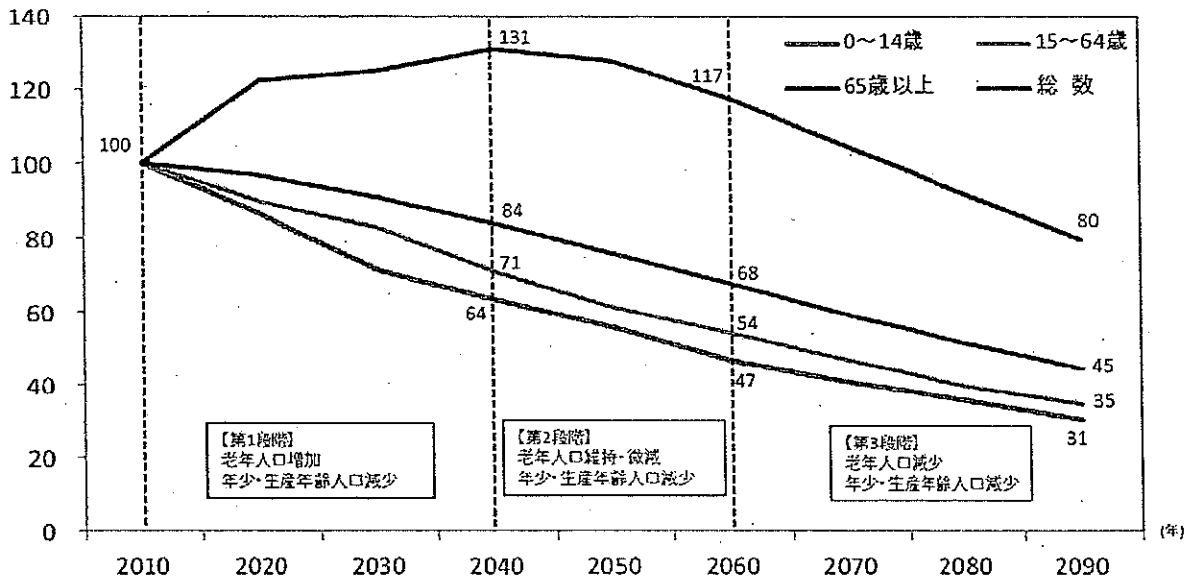
⑤ 公職選挙法施行令第144条（人口の定義）

法及びこの法令における人口は、官報で公示された最近の国勢調査又はこれに準ずる全国的な人口調査の結果による人口による。（実際は、準ずる全国的な調査は実施されたことなし）

3. 市町別人口減少段階

○ 「人口減少段階」は、一般的に、「第1段階:老年人口の増加(総人口の減少)」「第2段階:老年人口の維持・微減」「第3段階:老年人口の減少」の3つの段階を経て進行するとされています。

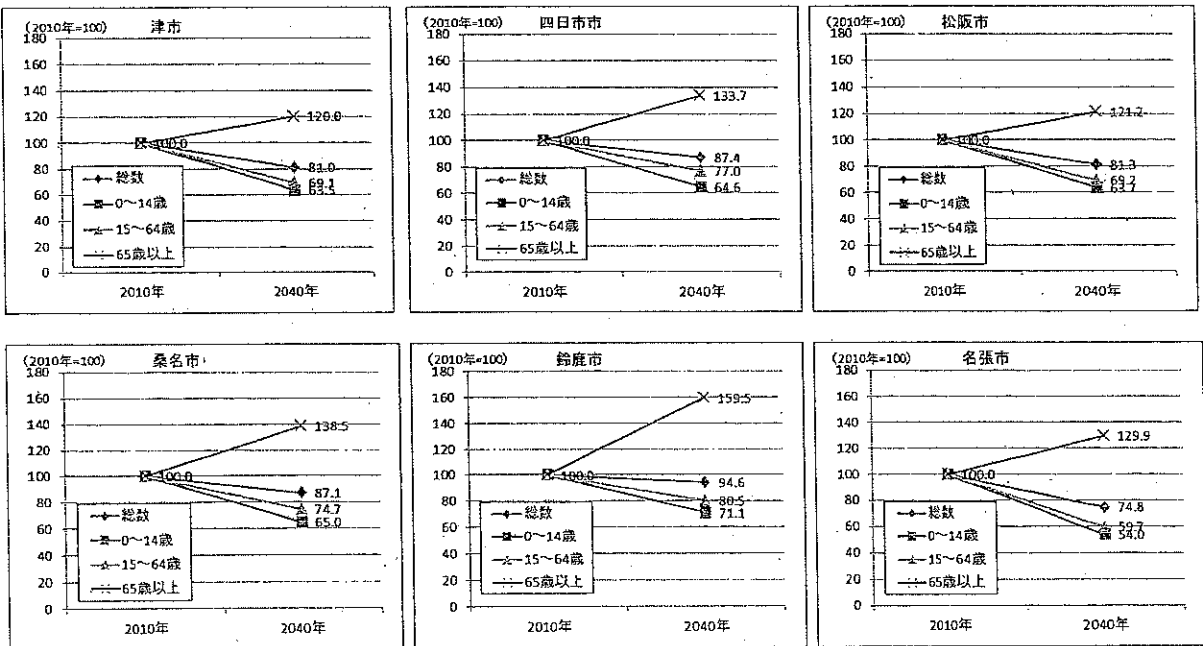
【図表 3-1】 人口の減少段階(全国)

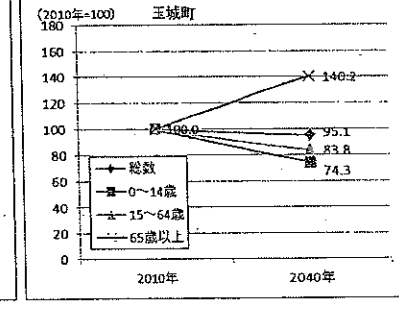
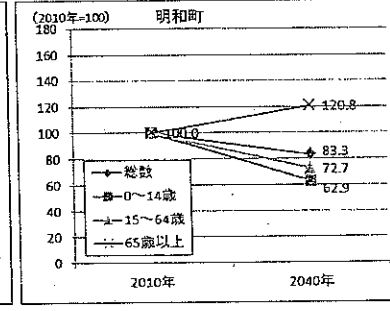
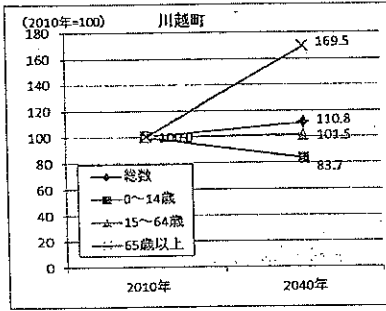
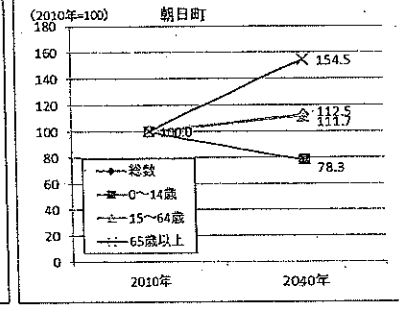
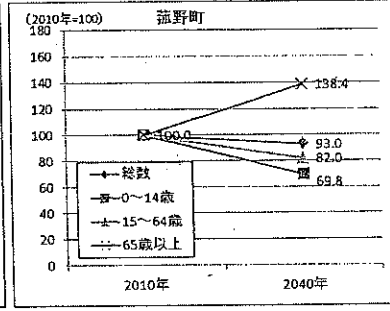
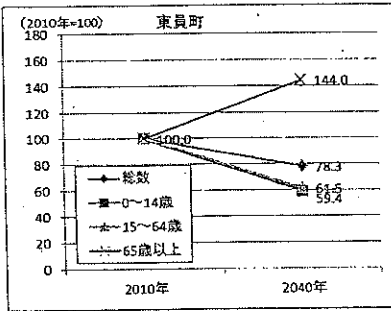
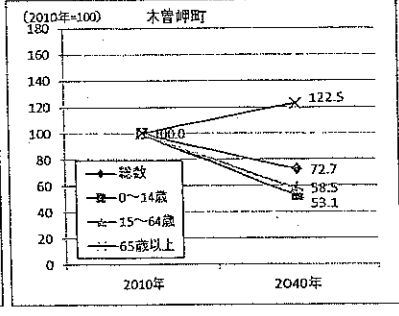
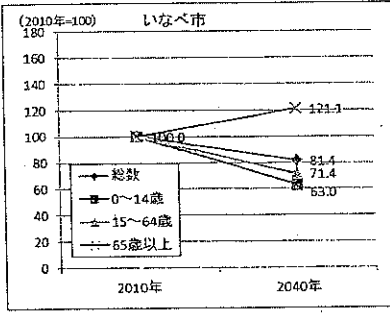
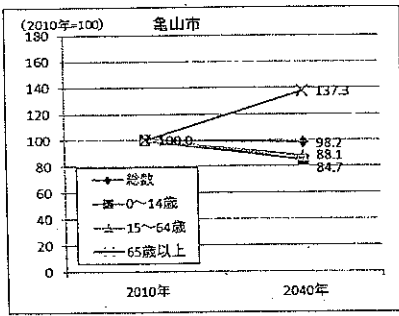


(備考)
 1. 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」より作成
 2. 2010年の人口を100とし、各年の人口を指数化した。

○ 三重県内の市町における「人口減少段階」の分布状況をみたのが下表で、社人研推計から分類したものです。

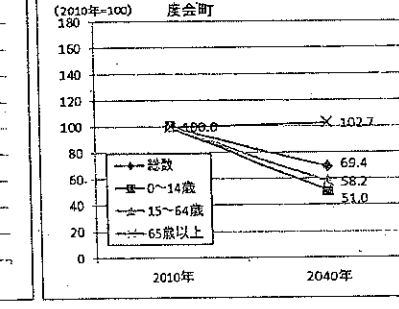
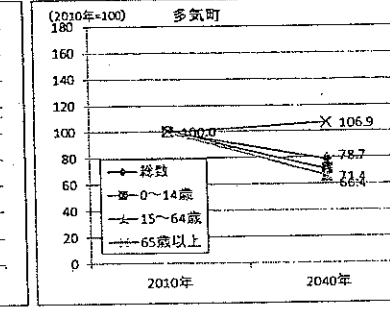
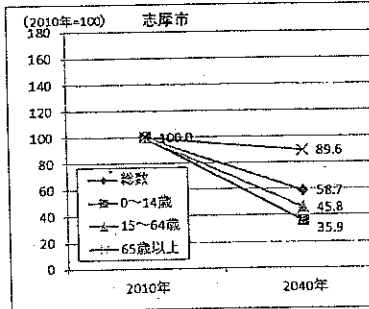
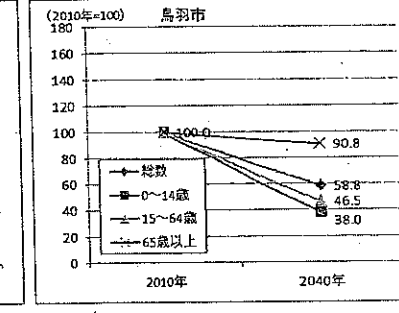
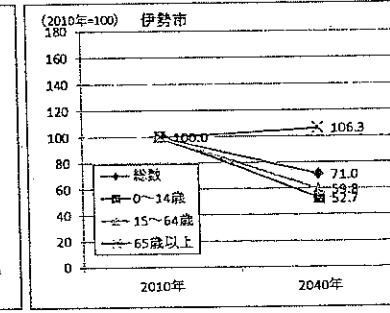
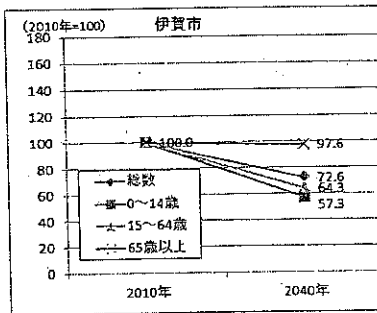
【図表 3-2】 第1段階

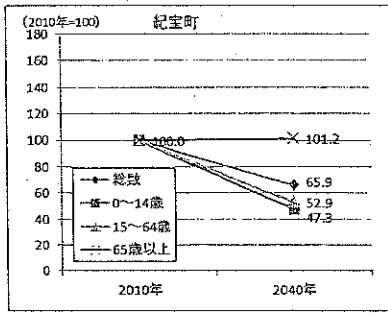
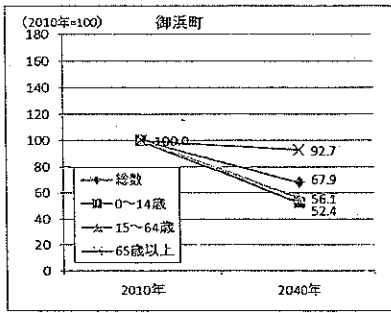




【図表 3-3】

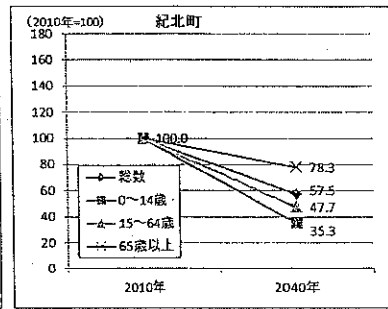
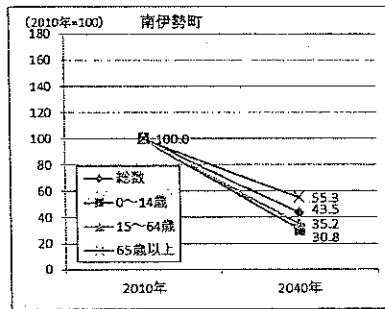
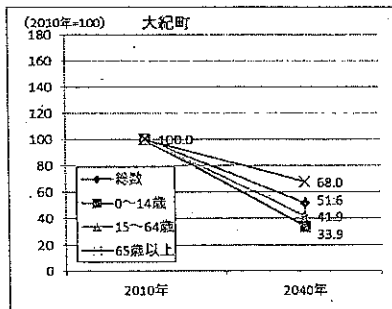
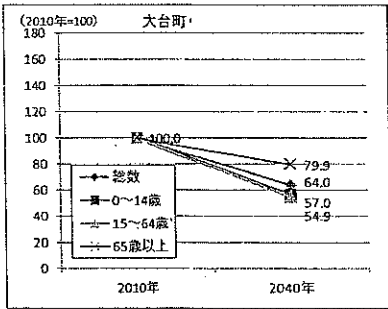
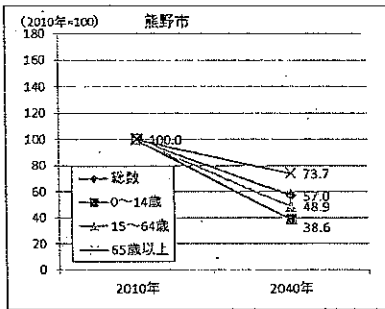
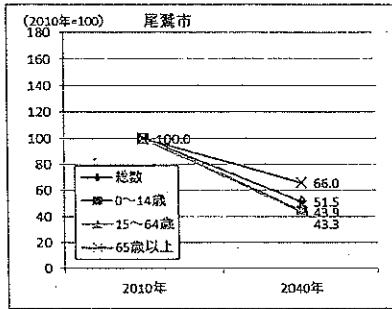
第2段階





【図表 3-4】

第3段階



資料2-2

日本創成会議・人口減少問題検討分科会の推計による「消滅可能性」896自治体のうち三重県分。

数字は、2010年から30年間の20～39歳の女性人口の予想減少率

<三重>

木曾岬町58.0

名張市55.3

伊勢市50.5

鳥羽市65.4、志摩市68.1

大台町51.3

度会町54.0、大紀町72.8、南伊勢町71.9

尾鷲市64.7、紀北町67.4、

熊野市68.9、御浜町56.2、紀宝町55.8

資料2-3

納税義務者1人当たり総所得（H27年市町村税課税状況等調）

年度	団体名	所得割の 納税義務 者数(A)	総所得金額 等(B) <千円>	納税義務者 1人当たり総 所得(B/A) <千円>	ランク
2015	津市	126,122	398,536,460	3,160	4
2015	四日市市	143,123	470,996,360	3,291	3
2015	伊勢市	56,458	163,794,295	2,901	13
2015	松阪市	70,901	208,106,512	2,935	12
2015	桑名市	64,509	218,604,689	3,389	2
2015	鈴鹿市	90,310	284,233,824	3,147	6
2015	名張市	35,063	103,589,592	2,954	11
2015	尾鷲市	7,507	20,410,065	2,719	18
2015	亀山市	22,457	66,935,668	2,981	9
2015	鳥羽市	7,952	19,915,090	2,504	27
2015	熊野市	6,391	16,327,185	2,555	23
2015	いなべ市	21,833	64,867,611	2,971	10
2015	志摩市	20,620	50,120,196	2,431	29
2015	伊賀市	40,884	115,076,781	2,815	14
2015	木曾岬町	3,110	8,284,813	2,664	19
2015	東員町	11,902	37,295,455	3,134	7
2015	菰野町	18,479	58,291,758	3,154	5
2015	朝日町	4,542	16,136,648	3,553	1
2015	川越町	7,012	21,753,620	3,102	8
2015	多気町	6,116	17,109,962	2,798	16
2015	明和町	9,738	26,964,029	2,769	17
2015	大台町	3,885	10,063,914	2,590	21
2015	玉城町	6,668	18,716,293	2,807	15
2015	度会町	3,674	9,745,530	2,653	20
2015	大紀町	3,467	8,573,425	2,473	28
2015	南伊勢町	4,908	12,517,109	2,550	24
2015	紀北町	6,139	15,613,025	2,543	25
2015	御浜町	3,198	8,248,315	2,579	22
2015	紀宝町	4,169	10,554,535	2,532	26